

## 会 議 録

会 議 名	令和4年度第2回野田市まち・ひと・しごと創生専門員会議
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	1 次期「野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について（公開） 2 その他（公開）
日 時	令和5年3月29日（水）午後2時30分から午後3時30分まで
場 所	市役所低層棟4階 職員控室
出席者氏名	<p>議 長 内山 久雄</p> <p>委 員 伊佐 智 五味 良仁 高須賀 晴子 福田 健二郎 箱森 弥生</p> <p>事務局 生嶋 浩幸（企画財政部長） 中村 正則（企画調整課長） 池田 文彦（企画調整課長補佐） 横川 晴昭（企画調整課企画調整係長） 近藤 敬寿（企画調整課主任主事）</p> <p>関係課 池岡 貴志（行政管理課情報政策係長）</p>
欠席委員氏名	本多 佑貴
傍 聴 者	1名
議 事	<p>1 開会 企画調整課長補佐 令和5年3月29日午後2時30分、開会を宣言し、会議の公開について、個人情報等の不開示情報を取り扱うことがないため、原則公開とすること及び傍聴5名を限度に認めることを説明した。また、会議の途中における傍聴者の入室について了承を得た。あわせて、本日は傍聴1名であることを報告した。 議事進行を議長に依頼する。</p> <p>議長 これより会議を開会する。副市長より挨拶をお願いする。</p> <p>2 副市長挨拶 &lt;挨拶&gt;</p> <p>議長 事務局より委員の委嘱について説明をお願いする。</p>

### 3 委員紹介

企画調整課長 1名の委員から辞任の申出があり、連合千葉東葛地域協議会野田・流山地区連絡会から委員の推薦を頂き、1名の委員を委嘱させていただいたことを報告する。連合千葉東葛地域協議会野田・流山地区連絡会の西尾 健太郎委員の後任として、本多佑貴様を令和4年9月1日付けで委嘱し、委嘱期間については、前任者の残任期間とすることを報告。また、本多委員については、所用により欠席であることを報告。

議長 対面での開催が1年8か月ぶりとなるため、委員の自己紹介をお願いする。

議長を含め出席した6名が自己紹介を行った。

### 4 事務局紹介

企画調整課長補佐 事務局及び関係課の紹介を行った。

### 5 議事

(1) 次期「野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について

議長 それでは、次第に沿って本日の議事を進めさせていただく。議題の説明に加え関連事項として「デジタル田園都市国家構想総合戦略」及び「地域再生計画の見直し」についても、事務局から説明をお願いする。

#### <事務局説明>

- ・野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、策定の経緯及び計画期間が令和4年度で終了となること、引き続き地方創生の取組を進めていくことから、この度策定された総合計画後期基本計画を踏襲し令和12年度までを計画期間とした次期計画を策定することを説明。
- ・改訂に伴い、各重要業績評価指標を令和12年度の目標値として設定したことを説明。
- ・デジタル田園都市国家構想総合戦略について、概要及び交付金の活用事例として「支所及び出張所へのキャッシュレス決済導入事業」について申請し内示を受けていることを説明。
- ・デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえた野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について、県や近隣市の動向を踏まえ改訂していく考えであることを説明。
- ・地域再生計画の見直しについて、現在は「自然及び歴史と共生するまちづくり推進プロジェクト」に用途が限定されているため、総合計画及び総合戦略で掲げる六つの基本目標に対して寄附の使い道を選択できるように見直しを図っていくことを説明。

議長 ただ今事務局から説明があったが、質問等ある方はいらっしゃるか。

議長 それではまず私から、国はデジタル田園都市国家構想を進めていくこ

とになっているが、市の業務についてデジタル化していく部署はあるのか。

企画財政部長 市では今まで行政管理課内に情報政策係を置きデジタル化を進めていたが、令和5年度から情報政策課としてデジタル化やDXを進めていく予定である。これまでも税金関係の部署にOCRを導入するため、先進市の視察等を行っており、そういったところから徐々にデジタル化を進めていきたいと考えている。

議長 説明に対し理解した。市のデジタル化に加え市が持っているデータを整理し、オープンにすることで市民も利活用できるように進めていただきたい。

伊佐委員 「支所及び出張所へのキャッシュレス決済導入事業」の対象は発行手数料の支払がクレジットや電子決済でできる端末を置くということか。

情報政策係長 お見込みのとおり。

伊佐委員 説明に対し理解した。マイナンバーカードを利用した証明書発行端末が本庁舎1階に置いてあるが、余り利用していないのではないかと感じているが、利用促進のため案内係等を配置すると良いのではないか。

企画財政部長 野田市は他市と比較しても窓口で手続をする市民が多いと考えており、この状況を改善するためコンシェルジュを市民課では配置しており、マイナンバーカードをお持ちの方は端末による証明書発行を案内している。今後は他の窓口でもコンシェルジュの配置を進めていきたいと考えている。

議長 伊佐委員の質問に関連して、デジタル化ではないが足立区では窓口業務を民間に委託しておりとても評判がいいと聞いている。野田市でも窓口業務を民間委託する中でデジタル化をすることを条件に発注してみても良いのではないか。一度、足立区の視察をしてみるといいのではないか。

副市長 窓口業務の民間委託については、野田市でも検討しているが、証明書の発行について法令等に問題が生じる可能性があり、現在研究中である。足立区の事例については、導入から時間が経過し、そういった懸念事項も解決している可能性があるため、改めて検討していきたい。

議長 意見となるが鈴木貫太郎翁について、偉大な方であるが、それを一般に理解しやすいように説明することが難しい。誰でも鈴木貫太郎翁を理解できるようなストーリーを市で考えていただくと良いのではないか。

議長 他に質問等ある方はいらっしゃるか。

<質問なし>

議長 それでは現在の「野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、野田市まち・ひと・しごと創生専門委員設置規則第2条第2号により、事務局から提出されている、次期「野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（案）とおり策定することで提言する。  
今後は新たな目標値に向かって、取り組んでいただきたい。

(2) その他

議長 それでは、その他として事務局より何か説明はあるか。

<事務局説明>

- ・翌年度の会議の予定について、8月又は9月頃に令和4年度の効果検証を実施する予定であることを説明。

議長 委員の皆様から何か発言はあるか。特にないようであれば、閉会とさせていただきます。

<発言なし>

6 閉会

議長 午後3時30分、閉会を宣言した。